

教科：情報 科目：情報Ⅰ

対象学年組：第1学年A組～F組

教科担当：

使用教科書：数研出版『高等学校 情報Ⅰ』

教科 情報の目標	
【知識及び技能】	知識の習得や知識の概念的な理解、情報機器の操作の基本的な技術の習得する。
【思考力、判断力、表現力等】	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組み、自ら学習を調整する姿勢を養う。

科目 情報Ⅰの目標	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	「情報」がもつ意味や働きについて理解し、情報を評価・判断するための技能を身に付ける。また、様々なメディアの特徴や、情報の適切な表現形式について理解させ、情報通信ネットワークなどを適切に活用して、問題を解決する方法を習得させる。	情報がもつ意味や働きについて考え、情報の価値や信頼性・検証について判断し、適切に表現する。また、問題解決のプロセスについて考え、科学的な根拠による判断ができるようデータを分析し、得られた結果について考察する。	情報がもつ意味や働きについて関心を持ち、適切に活用する態度や問題解決やその方法について関心をもち、情報機器による問題解決を主体的に図っていく態度を養う。

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 情報社会の問題解決 (1)「知識及び技能」 ・「情報」がもつ意味や働きについて理解する。 ・情報を評価・判断するための技能を身に付ける。 ・基本的な文書作成を行う。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 ・「情報」がもつ意味や働きについて考え、その結果を適切に表現する。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 ・「情報」がもつ意味や働きについて関心を持つ。	・情報とは何か ・情報源と情報の検証 ・情報とメディアの特性 ・問題解決のプロセス ・情報社会と法規・制度 ・情報社会と個人の権利 ・知的財産権 ・情報セキュリティ ・情報技術の発展の光と影 ・文書の作成 ・表の編集 ・画像や図形を活用した文書の作成	(1)「知識及び技能」 ・「情報」がもつ意味や働きについて理解している。 ・情報を評価・判断するための技能を身に付けている。 ・基本的な文書作成ができる。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 ・「情報」がもつ意味や働きについて考え、その結果を適切に表現できている。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 ・「情報」がもつ意味や働きについて関心を持っている。	○			14
	B コミュニケーションと情報デザイン (1)「知識及び技能」 ・アナログ情報とデジタル情報のちがいについて理解する。 ・デジタル情報の特徴について理解する。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 ・アナログ情報とデジタル情報のちがいについて考え、適切に判断する。 ・デジタル情報の特徴や利点について考え、その結果を適切に表現する。	・アナログとデジタル ・デジタル情報の表現 ・文字のデジタル表現 ・音のデジタル表現 ・画像のデジタル表現 ・動画のデジタル表現 ・データの圧縮・通信とその進展 ・マスコミュニケーションの進展 ・情報の発信とメディアの性質 ・情報を表現する方法 ・ユニバーサルデザイン ・プレゼンテーションとは ・プレゼンテーションの流れと注意点	(1)「知識及び技能」 ・アナログ情報とデジタル情報の違いについて理解できる。 ・デジタル情報の特徴について理解している。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 ・アナログ情報とデジタル情報のちがいについて考え、適切に判断できる。 ・デジタル情報の特徴や利点について考え、その結果を適切に表現できる。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 ・アナログ情報とデジタル情報のちがいや特徴について関心を持っている。	○			16
	(3)「学びに向かう力、人間性等」 ・アナログ情報とデジタル情報のちがいや特徴について関心を持つ。					○	
2 学 期	C コンピュータとプログラミング (1)「知識及び技能」 ・コンピュータの基本的な構成について理解し、基本的な操作ができる技能を身に付ける。 ・コンピュータ本体の働きや補助記憶装置の種類や特徴などについて理解する。 ・表計算ソフトの基本的な操作を習得する。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 ・コンピュータの中のCPUやメモリ、補助記憶装置の役割について考える。 ・コンピュータの能力を適切に判断する。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 ・コンピュータの本体や周辺装置に関心をもち、積極的に活用する。	・コンピュータの構成 ・コンピュータのソフトウェア ・コンピュータでの数値の内部表現 ・アルゴリズム ・プログラミング言語とは ・プログラミングの方法 ・モデル化 ・シミュレーション ・基本的なワークシート編集 ・関数を使った計算式 ・グラフの作成 ・条件判定と順位付け	(1)「知識及び技能」 ・コンピュータの基本的な構成について理解し、基本的な操作ができる技能を身に付けている。 ・コンピュータ本体の働きや補助記憶装置の種類や特徴などについて理解している。 ・表計算ソフトの基本的な操作を習得している。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 ・コンピュータの中のCPUやメモリ、補助記憶装置の役割について考えている。 ・コンピュータの能力を適切に判断できる。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 ・コンピュータの本体や周辺装置に関心をもち、積極的に活用しようとしている。	○			14
3 学 期	D 情報通信ネットワークとデータの活用 (1)「知識及び技能」 ・LAN、WAN、インターネットの構造、モバイル通信などに関する知識を身に付ける。 ・データベースの特徴や機能について理解する。 ・プレゼンテーションソフトの基本的な操作を習得する。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 ・LANやインターネットなどのコンピュータによる通信とその影響について考える。 ・データベースの働きや必要性について考察し、その結果を適切に表現する。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 ・LANやインターネットなどのコンピュータによる通信とその影響について考える。 ・データベースを利用することで、どのようなことが可能になるのかに関心を持つ。	・コンピュータネットワーク ・通信プロトコル ・パケット通信 ・通信の信頼性 ・IPアドレスとドメイン名 ・WWWのしくみとURL ・電子メールの送受信のしくみ ・情報の暗号化 ・データベース ・さまざまな情報システム ・データのさまざまな形式 ・データの収集方法 ・データの種類と尺度水準 ・データの分析 ・テキストマイニング ・プレゼンテーションの作成 ・スライドショーと資料作成	(1)「知識及び技能」 ・LAN、WAN、インターネットの構造、モバイル通信などに関する知識を身に付けている。 ・データベースの特徴や機能について理解している。 ・プレゼンテーションソフトの基本的な操作を習得している。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 ・LANやインターネットなどのコンピュータによる通信とその影響について考えている。 ・データベースの働きや必要性について考察し、その結果を適切に表現している。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 ・LANやインターネットなどのコンピュータによる通信とその影響について考えている。 ・データベースを利用することで、どのようなことが可能になるのかに関心をもっている。	○			16